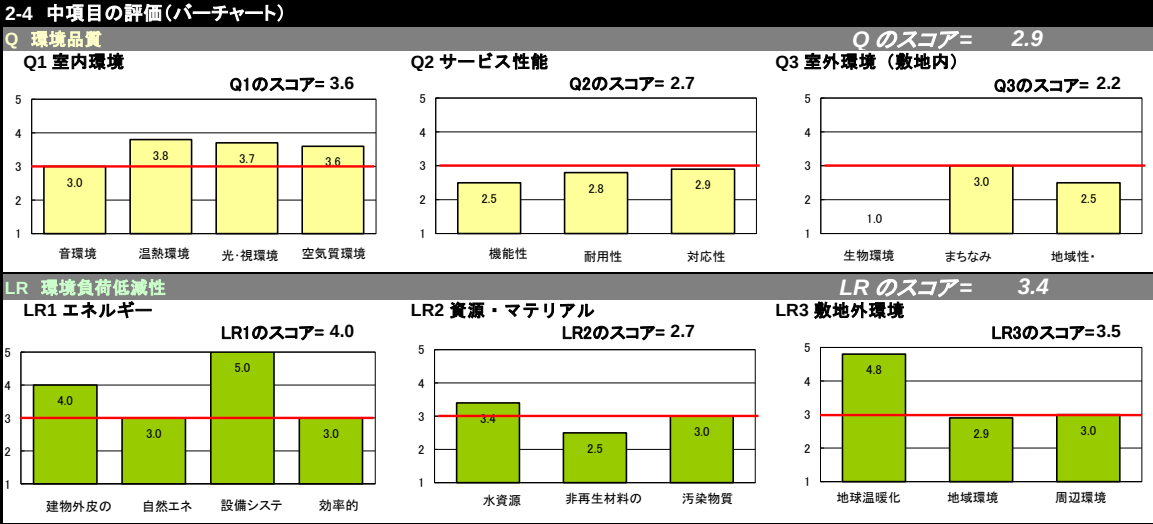
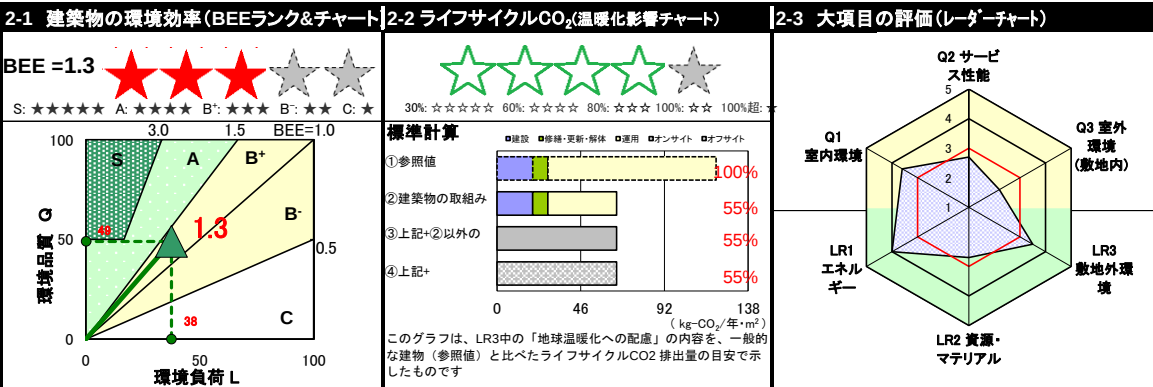




評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)モアグレース稲沢市長野二丁目	階数	地下0階地上15階
建設地	愛知県稲沢市長野二丁目1番1	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、法第22条区域	平均居住人員	182 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2026年9月 予定	評価の実施日	2024年10月31日
敷地面積	1,631 m ²	作成者	澤田 勉
建築面積	333 m ²	確認日	2024年10月31日
延床面積	3,666 m ²	確認者	澤田 勉



3 重点項目	
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化
4.8	1.0
②資源の有効活用	④地域材の活用
2.6	1.0

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

- ①地球温暖化への配慮
- LR-3 1 地球温暖化への配慮
- ②資源の有効活用
- Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
- LR-2 2 非再生性資源の使用量削減
- ③敷地内の緑化
- Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$



CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
【仮称】モアグレース稲沢市長野二丁目

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目	独自基準	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		住居・宿泊部分		全体	
	重点項目		評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質									2.9	
Q1 室内環境					0.40			-	3.6	
1 音環境			0.1	3.0	0.15	3.0	3.0	1.00	3.0	
1.1 室内騒音レベル			3.0	3.0	0.50		3.0	0.50		
1.2 遮音			0.5	3.0	0.50		3.0	0.50		
1 開口部遮音性能			-	3.0	1.00		3.0	0.30		
2 界壁遮音性能			-	3.0	-		3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	-		3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	-		3.0	0.20		
1.3 吸音			-	3.0	-		3.0	-		
2 温熱環境			0.3	2.4	0.35	4.0	4.0	1.00	3.8	
2.1 室温制御			0.5	3.0	0.50	4.0	4.0	1.00		
1 室温			3.0	3.0	0.63		-	-		
2 外皮性能			3.0	3.0	0.38		4.0	1.00		
3 ゾーン別制御性			3.0	3.0	-		-	-		
2.2 湿度制御			3.0	3.0	0.20		-	-		
2.3 空調方式			3.0	1.0	0.30		-	-		
3 光・視環境			0.2	2.7	0.25	3.8	3.8	1.00	3.7	
3.1 昼光利用			0.3	4.2	0.30	4.0	4.0	0.40		
1 昼光率			3.0	5.0	0.60		5.0	0.50		
2 方位別開口				-	-		3.0	0.30		
3 昼光利用設備			3.0	3.0	0.40		3.0	0.20		
3.2 グレア対策			0.3	2.0	0.30	4.0	4.0	0.40		
1 昼光制御			5.0	2.0	1.00		4.0	1.00		
3.3 照度			3.0	1.0	0.15		3.0	0.20		
3.4 照明制御			3.0	3.0	0.25		-	-		
4 空気質環境			0.2	3.6	0.25	3.6	3.6	1.00	3.6	
4.1 発生源対策			0.6	4.0	0.60	4.0	4.0	0.63		
1 化学汚染物質			3.0	4.0	1.00		4.0	1.00		
4.2 換気			0.4	3.0	0.40	3.0	3.0	0.38		
1 換気量			3.0	3.0	0.50		3.0	0.33		
2 自然換気性能			3.0	3.0	-		3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮			3.0	3.0	0.50		3.0	0.33		
4.3 運用管理			-	-	-		-	-		
1 CO ₂ の監視			3.0	3.0	-		-	-		
2 喫煙の制御			3.0	3.0	-		-	-		
Q2 サービス性能			-	-	0.30		-	-	2.7	
1 機能性			0.4	2.4	0.40	2.6	2.6	1.00	2.5	
1.1 機能性・使いやすさ			0.4	3.0	0.40	3.0	3.0	0.60		
1 広さ・収納性			3.0	3.0	-		3.0	-		
2 高度情報通信設備対応			3.0	3.0	-		3.0	1.00		
3 バリアフリー計画			3.0	3.0	1.00		-	-		
1.2 心理性・快適性			0.3	1.0	0.30	2.0	2.0	0.40		
1 広さ感・景観 (天井高)			3.0	3.0	-		3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース			3.0	3.0	-		-	-		
3 内装計画			3.0	1.0	1.00		1.0	0.50		
1.3 維持管理			0.3	3.0	0.30		-	-		
1 維持管理に配慮した設計			3.0	3.0	0.50		-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-	-		
2 耐用性・信頼性			0.3	2.8	0.31	-	-	-	2.8	
2.1 耐震・免震・制震・制振			0.4	3.0	0.48		-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	3.0	0.80		-	-		
2 免震・制震・制振性能			3.0	3.0	0.20		-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数			0.3	2.7	0.33		-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23		-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.23		-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.09		-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08		-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.15		-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.23		-	-		
2.4 信頼性			0.1	2.4	0.19		-	-		
1 空調・換気設備			3.0	3.0	0.20		-	-		
2 給排水・衛生設備			3.0	2.0	0.20		-	-		
3 電気設備			3.0	3.0	0.20		-	-		
4 機械・配管支持方法			3.0	1.0	0.20		-	-		
5 通信・情報設備			3.0	3.0	0.20		-	-		

3 対応性・更新性				0.2	3.0	0.29	2.9	2.9	1.00	2.9	
3.1 空間のゆとり			②	階高を2910とした		-	-	-	2.8	2.8	0.50
1 階高のゆとり				3.0	3.0	-		4.0	0.60		
2 空間の形状・自由さ				3.0	3.0	-		1.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり				3.0	3.0	-		3.0	0.50		
3.3 設備の更新性				1.0	3.0	1.00			-		
1 空調配管の更新性					3.0	0.17			-		
2 給排水管の更新性				3.0	3.0	0.17			-		
3 電気配線の更新性				3.0	3.0	0.11			-		
4 通信配線の更新性				3.0	3.0	0.11			-		
5 設備機器の更新性				3.0	3.0	0.22			-		
6 バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22			-			
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30		-	-	2.2	
1 生物環境の保全と創出				独自③	-	1.0	0.30		-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮				独自④	-	3.0	0.40		-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮					0.3	2.5	0.30		-	2.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				独自④	-	2.0	0.50		-		
3.2 敷地内温熱環境の向上					-	3.0	0.50		-		
LR 建築物の環境負荷低減性						-				3.4	
LR1 エネルギー						-	0.40		-	4.0	
1 建物外皮の熱負荷抑制				BPI=0.8	3.0	4.0	0.33		-	4.0	
2 自然エネルギー利用					3.0	3.0	0.17		-	3.0	
3 設備システムの高効率化				BEI=0.84	3.0	5.0	0.33		-	5.0	
4 効率的運用					0.1	3.0	0.17		-	3.0	
集合住宅以外の評価					-	-	-		-		
4.1 モニタリング					3.0	3.0	-		-		
4.2 運用管理体制					3.0	3.0	-		-		
集合住宅の評価					1.0	3.0	1.00		-		
4.1 モニタリング					-	3.0	0.50		-		
4.2 運用管理体制					-	3.0	0.50		-		
LR2 資源・マテリアル						-	0.30		-	2.7	
1 水資源保護					0.1	3.4	0.15		-	3.4	
1.1 節水					3.0	4.0	0.40		-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					0.6	3.0	0.60		-		
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	3.0	1.00		-		
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	3.0	-		-		
2 非再生性資源の使用量削減					0.6	2.5	0.63		-	2.5	
2.1 材料使用量の削減				② 独自	-	2.0	0.07		-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用					-	3.0	0.25		-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用					-	3.0	0.21		-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					3.0	1.0	0.21		-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材					3.0	-	-		-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み					3.0	3.0	0.25		-		
3 汚染物質含有材料の使用回避					0.2	3.0	0.22		-	3.0	
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	3.0	0.32		-		
3.2 フロン・ハロンの回避					0.6	3.0	0.68		-		
1 消火剤					-	-	-		-		
2 発泡剤(断熱材等)					-	3.0	1.00		-		
3 冷媒					3.0	-	-		-		
LR3 敷地外環境						-	0.30		-	3.5	
1 地球温暖化への配慮				①	-	4.8	0.33		-	4.8	
2 地域環境への配慮					0.3	2.9	0.33		-	2.9	
2.1 大気汚染防止					-	3.0	0.25		-		
2.2 温熱環境悪化の改善					-	3.0	0.50		-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制					0.2	2.7	0.25		-		
1 雨水排水負荷低減				独自		3.0	0.25		-		
2 汚水処理負荷抑制					-	3.0	0.25		-		
3 交通負荷抑制				独自		3.0	0.25		-		
4 廃棄物処理負荷抑制					-	2.0	0.25		-		
3 周辺環境への配慮					0.3	3.0	0.33		-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					0.4	3.0	0.40		-		
1 騒音				独自		3.0	1.00		-		
2 振動				独自	-	-	-		-		
3 悪臭					-	-	-		-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					0.4	3.0	0.40		-		
1 風害の抑制					-	3.0	0.70		-		
2 砂塵の抑制					-	3.0	-		-		
3 日照障害の抑制					-	3.0	0.30		-		
3.3 光害の抑制					0.2	3.0	0.20		-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					-	3.0	0.70		-		
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					-	3.0	0.30		-		

重点項目スコアシート

(仮称)モアグレース湘沢市長野二丁目

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新編)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				4.8
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.8	0.10	2.6
② 資源の有効活用				
Q2-2	耐震性・信頼性	2.8	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.5	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:41.8%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)モアグレース稲沢市長野二丁目

計画上の配慮事項	
総合	省エネルギー(断熱性能、LOW-Eガラス採用等)により環境に配慮した。
Q1 室内環境	開口部を大きく取り十分な採光を確保した。
Q2 サービス性能	住戸の階高を2.91m以上とし空間にゆとりを持たせた。
Q3 室外環境(敷地内)	周辺環境に配慮し住戸分の駐車場を確保した。
LR1 エネルギー	共用部分の照明器具をLEDを使用し消費電力を抑えた。
LR2 資源・マテリアル	節水型便座や水栓を採用した。
LR3 敷地外環境	駐車、駐輪スペースを敷地内に確保した。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。